

応募した者

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経歴		農業経営の状況	認定農業者であるか否かの別	応募する理由	農地利用最適化推進委員への推薦の有無
				年月日	職名・役職等				
中菌 正光	男	74	北九州市住宅供給公社に平成20年3月31日まで(定年退職)	S39年3月	九州工業高校土木課卒	昭和61年11月から都市計画事業、若松西部土地区画整理事業と国の補助事業の「乙丸ほ場整備業」を同時施工し、事業完成まで、従事しました。現地は今「畑にプロコリー」、「田にはこしひかり」を生産しています。今後も農産物は「人間の命」と重要性を生産者と協力して行、農業の大切さを啓も、PR.のために応募しました。	認定農業者ではない	<p>1 農産地は、人間の「食」の命です。農産物の安定、安全な供給と農産物の生産者の人材確保及び生産者の所得の向上と楽しく安全に生産できる、確保と農地の国土の防災、減災の環境保持のため、今後は、土地区画整理士の国家資格を生かし圃場整備の経験を生かし地域・地区の生産者と進んで交流を持ち、日本の「食」の重要制と大切さの啓蒙したい為に応募しました。</p> <p>2 日本の「食」は約70%輸入していると聞きました。 しかし現在は、日本の農業生産物は、品質も良く、安全で、安心な完成品の農産物で世界的にも評価も高い、日本の工業製品、つく輸入産業です。 今後の日本の経済の発展と「農産物」は国民重要産業です、子供の頃から教育重要性の啓蒙の想いで応募しました。</p> <p>3 現職時、45年間、国家資格の「区画整理士の資格を持っていたので、先祖伝来の農産地を人間生活のための「衣」、「食」、「住」で農地を開発したことに悔いと反省のため、今後は農地の重要性の啓蒙したい為に応募しました。</p> <p>「反省」 徳力区画整理事業で5年間従事時、農地者の猛反対の中「ほうれん草」の生産地、その他、区画整理事業地内の「田」、「畑」、「森林」を開発し現在は、空き地等で未利用地、になっています。現在、もう反省の日々です。 近年、市は「市街地の線引き調整地の見直し計画とこのこと、進んで「農地」の復興で、集積し農地の「機械化」、を要望の啓蒙の為に応募しました。</p>	有
				S39年4月	北九州市門司区役所建設部 区画整理課臨時職入所				
				S43年10月	北九州市財団、土地区画整理協会入社				
				H7年4月	北九州市区画整理協会から北九州市都市供給公社へ合併				
				H12年4月	北九州市都市整備公社から北九州市住宅供給公社定年退職				

氏名	性別	年齢(歳)	職業	経歴		農業経営の状況	認定農業者であるか否かの別	応募する理由	農地利用最適化推進委員への推薦の有無
				年月日	職名・役職等				
白石 忍	男	70	大学教授 経済学部長	平成16年4月～平成20年3月 福岡県教育センター情報教育部長 平成18年4月～平成20年3月 福岡県教育センター教育指導部長 平成20年4月～平成22年3月 福岡県立八幡南高等学校長 平成22年4月～平成25年4月 九州共立大学経済学部教授 平成25年4月～平成27年3月 九州共立大学経済学部経済・経営学科長 平成27年4月～	福岡県教育センター情報教育部長 福岡県教育センター教育指導部長 福岡県立八幡南高等学校長 九州共立大学経済学部教授 九州共立大学経済学部経済・経営学科長 九州共立大学経済学部教授	現在は、稲作を8,150㎡行っています。収量は40俵程です。 田、畑、山林、竹林の管理が課題ですが、田はほぼ耕作しています。他に家庭菜園を少々、自家用に筍を取ります。 退職すればもっと充実した農業ができると楽しみにしています。	認定農業者ではない	父 元博は、伊川区长及び伊川校区自治協会会長を10年以上務め、農協の理事、農業委員、北九州京築農業共済組合筆頭理事等を80歳迄お引き受けしていました。代々の農家として、父は学校に勤めながら兼業農業を果たし、その姿を私に見せてくれました。父が死んで7年、私は見様見真似でその後を追っています。 加えて、私の専門は哲学ですが、高校では政治・経済も教え、農政のあり方や集落の現状に心を寄せることが多くなりました。 現在、その父の思い出と自らの専門性を活かしたいと思っています。	無